

オッサン ショウオが行く

おかべ 介護士 岡部 綾さん

プロフィール

平成11年米子市生まれの21歳。米子市の高校・新見市の大学へ進み、介護について学ぶ。

平成31年4月～あかねの郷で介護士として勤務。現在2年目で、日南町に住みながら勤務している。

日南福祉会は、日南町が運営していた特別養護老人ホームと日南町社会福祉協議会が受託運営していたデイサービス、訪問介護、居宅介護支援事業所を一つにし、日南町の住民が一体的な介護サービスを利用出来るように誕生した、日南町で唯一の社会福祉法人です。

特別養護老人ホーム「あかねの郷」では早番・日勤・遅番・夜勤とシフトを交代しながら24時間体制で勤務しています。



介護士を目指したきっかけは

元々高校のコース選択でなんとなく介護を選択していましたが、大きなきっかけは高校生の頃、認知症の症状があった祖母と一週間二人で生活したことです。施設から施設への移動の間の一週間ということの手伝いに行きましたが二人きりでの生活は本当に大変でした。その一方で介護士の必要性や重要性を感じました。見たくても看ることができないという家族の思いにお手伝いする仕事が介護士だと思っています。祖母も色々な人の支えがあって生活することができたと感じるので私もお手伝いができればと思って目指しました。



日南町で働こうと思った理由は

祖母が日南町で暮らしていたということと、大学の実習であかねの郷に来た際にとっても雰囲気の良い職場だと感じたこと、言いたいことは言い合っているとるがいいなと思ったからです。



働いてみてどうですか

介護の仕事は大変だと言われることが多いのですが、私は大変だという気持ちよりもやりがいがあるという気持ちの方が大きいです。利用者さんがやりたいことをお手伝いできたときに喜んでいる姿をみたり、家族と面会されてイキイキとした表情で、お互いが喜んでおられる姿をみたりするたびにこの仕事をしていて良かったと思います。利用者さんから直接「ありがとう」とお礼の言葉をかけていただけることも嬉しいです。



難しいことは

利用者さんが何を感じているのかどのような思いなのかを汲み取ることが難しいです。一年目は仕事を覚えることに必死でしたが、最近は慣れてきたこともあり自分の苦手なことを克服したいと思っています。私は行事に向けて計画をすることが苦手なので考えてサポートしてもらいながら頑張っています。自分のための行事ではなくてみなさんに楽しんでもらうことが一番だと思っているので、楽しんでもらえるよう計画を立てていきたいです。



今後の目標は

先輩をみていて、何も無い日にホットケーキやお好み焼きを焼いて楽しむ等、利用者さんのことを第一に考えておられたいと思います。私も周りをみながら利用者さんのことを第一に考えて行動できるようになりたいです。

また、統一したケアが安心・安全につながると思うので意識していきたいです。

